

「大阪」  
むらくと 見えてはためく  
顔見世の歳をほどを  
過ぎて来にけり  
（「水の上」）  
釈 遥空

国学院大学 平成30年11月10日(土) 定期号(毎月10日発行) 1部20円  
【発行】国学院大学 【編集】総合企画部広報課 〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目 【電話】03(5466)0130 【FAX】03(5466)0528

祭 儀 ■ 月次祭・新嘗祭 12月1日(土)午前10時 神殿

スポーツシーズンの秋、国学院大学の体育連合会に加盟する体育部会や所属選手が各競技大会で好成績を収めるなど注目を集める活躍を見せ、大学関係者を沸かせた。

11月に行われた全日本大学駅伝対校選手権大会に4年連続6度目の出場を果たした陸上競技部は、過去最高順位となる総合6位を記録し、次年度大会への出場が可能となるシード権を初めて獲得。既に出場を決めている来年1月の東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)に向け、弾みをつけた。

カリブ海のバハマで10月に行われた世界ジュニア柔道選手権大会には、男子66kg級の日本代表として柔道部の相田勇司選手(法1)が出場し、初の世界挑戦で銅メダルに輝いた。本学学生

## 国内、世界で 学生が躍動

### スポーツの秋



による同大会でのメダル獲得は、平成22(2010)年の男子81kg級、北野裕一選手(現・パーク24、平25卒・121期経営)以来、8年ぶり。

硬式野球部では、エースの清水昇投手(日文4)が10月に行われたプロ野球ドラフト会議で東京ヤクルトから1位指名を受けた。ドラフト1位は、25年と同じく東京ヤクルトに指名された杉浦穂大投手(現・日本ハム、平26卒・122期日文)以来、5年ぶり。

他にも、ラグビーフットボール部やソフトテニス部も、所属するリーグで選手たちが躍動し、実りの秋を迎えている。

【K:DNA】I、II面に関連記事



**みはるかすもの**

東京・代々木の明治神宮の境内には、全国の蔵元から奉納された酒樽とともに、仏・ブルゴーニュ地方からの葡萄酒樽が並び、ご祭神の明治天皇が晩年にワインを嗜まれたことにちなんだものだという▼殖産興業政策の一環として、明治時代に山梨県内で始まった国内のワイン造り。近年、日本固有種のブドウ2種が国際機関にワイン用ブドウとして登録されたことなどから、世界で日本ワインの評価が高まり、海外のコンクールで金賞を受賞するワイナリーも相次いでいる▼さらに10月30日からは、国産ブドウを100%使い、国内で製造したものを「日本ワイン」とボトルのラベ

ルに表示できる新ルールがスタート。国際的に通用する基準を整備し、ブランド力を高めることなどが狙いだ▼日本酒を含む酒類の輸出量はここ数年、右肩上がりが続く。今年1月、香港のオークションで50年物の国産ウイスキーが3千万円を越す異例の高値で落札され話題になった。アイルランド発祥のウイスキーでも日本は、今や米国、カナダ、英国・スコットランドと並ぶ、「5大ウイスキー」の一つとして数えられるほどの世界的な生産地となった▼今年度は、明治維新から150年。明治天皇御製「よきをとり/あしきをすてて外国に/おとらぬくにと/なすよしもがな」に詠われる「和魂洋才」が、日本列島の豊かな自然環境のなかで醸される美酒となって世界を席巻する日もそう遠くないかもしれない。

### 創立136年迎え祭典を執行

学校法人国学院大学は、11月4日、母体である皇典講究所の創設から136年を迎えた。これに先立ち1日、創立記念祭をはじめ、関係物故者慰霊祭、永年勤続者表彰式が渋谷キャンパスで執行された。

坂口吉一理事長は、「今年人間開発学部創設10周年、国学院高等学校開校70周年の節目を迎えた。この日を皆で喜びたい。法人一体となって国学院ブランドの確立と強化に向けて取り組んでほしい」と挨拶した。

【2面に関連記事】



### 特集 身近な「税」のプロ 税理士 大学院が育てる高度専門職業人

大学院は、創造性にあふれる優れた研究・開発能力を持つ研究者や高い専門的知識・能力を持った高度専門職業人の養成を主に担っている。今号では、特に高度専門職業人の養成に焦点を当て、国民の日常生活に極めて身近な「税」のプロフェッショナルである税理士を育てる経済学研究科「キャリア・コース」を紹介しながら、大学院の役割について考えてみたい。

【6、7面に関連記事】

齋主による祝詞奏上(創立記念祭)



# 創立記念祭、 関係物故者慰霊祭を執行

学生による慰霊の舞(関係物故者慰霊祭)



創立136周年を迎えるに先立ち本学の創立記念祭が11月1日、渋谷キャンパス神殿で執り行われた。続いて、百周年記念館記念講堂に場所を移し、関係物故者慰霊祭も斎行された。

創立記念祭(齋主＝大野靖仁神殿奉斎員・神道研修事務部長)には、坂口吉一理事長をはじめ赤井益久学長、法人、大学の役教職員や学生らが参列。祝詞奏上に続き、神道文化学部学生が浦安の舞を奉仕した。参列者は、本学が積み重ねてきた136年の歴史に思いをはせつつ、今後の本学発展を祈念した。

続く関係物故者慰霊祭(齋主・茂木貞純神殿奉斎員・神道文化学部教授)は、創立以来の本学関係者で物故した役教職員や学生、中でもこの1年間に亡くなった人の御霊を迎えて斎行された。俗人の「追慕歌」、学生の「慰霊の舞」、フォイエール・コール混声合唱団の「追悼歌」が奉仕され、参列した人々は物故者をしのんだ。



パネリストらによるディスカッション

古事記学センターが主催する国際シンポジウム「古事記と『国家』の形成—古代史と考古学の視点から—」(宮崎県共催、西都市、宮崎県社庁後援)が11月3日、宮崎県西都市の県立西都原考古博物館で開催された。谷口雅博・古事記学センター長(文学部教授)、笹生衛・国学院大学博物館長(神道文化学部教授)、佐藤長門・文学部教授ら本学の研究陣に英国・セインズベリー日本藝術研究所のサイモン・ケイナー総括役所長、韓国・仁済大学の李永植教授らも加わり、「古事記」を中心に文学、史学、考古学の視点から、学際的、国際的な発表が行われた。

ディスカッションでは、聴衆代表の長友安隆・青島神社宮司も参加し議論が行われた。佐藤氏は「7、8世紀に女帝が登場した現実の政治動向を考えると、伝承だった神話を文字に起こす(『古事記』編纂の)必要性が生じたと考えられる」と述べ、谷口氏は「『日本書紀』が中国を強く意識したのに対し、女帝の皇位継承を正当化する(内向きの)意識が強かったのが『古事記』。また『古事記』は系譜へのこだわりが強く、神・天皇・各氏族の関係をこたわって書いている」などの意見が出された。笹生氏からは「5世紀前半、ローマと中国の帝国が影響力を低下させ、イギリスと東アジアはともに大きな転換期を迎え、周辺国家が芽吹いた。同時期に雄略天皇とアサー王が出てきて伝承がテキスト化される。そうすると、記紀の編纂も世界的レベルで語れるかもしれない」といった指摘もあり、大いに盛り上がった。

## 理事長・学長らが展墓



学校法人国学院大学では、創立記念日を迎えるにあたり、坂口吉一理事長、赤井益久学長ほか役員らが10月29日、豊島岡御墓所に皇典講究所初代総裁・有栖川宮幟仁親王と高松宮宣仁親王・同妃喜久子殿下、また、護国寺檀徒墓地に皇典講究所初代所長・山田顕義伯の展墓を行った。

## 永年勤続者表彰に34人



11月1日、渋谷キャンパス有栖川宮記念ホールで永年勤続者の表彰式が行われた。勤続45・40・30・20年の節目を迎えた本法人傘下各校の教職員34人に対して、坂口吉一理事長から表彰状が授与された。

表彰者は次の通り(敬称略)。

【勤続45年】青木豊、大森俊夫(以上、大学)

【勤続40年】杉本久男、久保田裕美、柴原美智子、高橋和枝、関口久美子(以上、大学)

【勤続30年】根岸茂夫、宮下大志、渡辺礼子、山口輝幸、小平浩衣、須田佳代(以上、大学)、伊藤洋文、宇梶良昭、福本直美(以上、国学院高等学校)、三浦千春、時崎一男、瀧真一、池田剛、双木洋一、小柳徹己(以上、国学院大学久我山高等学校)

【勤続20年】小池寿子、佐藤長門、尾近裕幸、及川聡、松本忠和、大久保規志、川畑敏之、吉原公英(以上、大学)、ティモシー・M・ブランクリー(国学院大学北海道短期大学部)、小園江典子、設楽昌文(以上、国学院高等学校)、山根茂之(国学院大学久我山高等学校)

## 21世紀研究教育計画に 客観的評価を 外部評価委員会を設置

学校法人国学院大学は10月1日、法人の中期計画「21世紀研究教育計画」の進捗に関する客観的な評価を実施するため21世紀研究教育計画委員会の下に外部評価委員会を設置した。

外部評価委員には、有識者、経済界、神社会、卒業生、保護者などから次の5人が選ばれた(五十音順)。

- 尾賀真城・サッポロホールディングス株式会社代表取締役社長
- 加藤圭子・若木育成会会長
- 河田悌一・一般社団法人大学資産共同運用機構理事長
- 九條道成・明治神宮権宮司
- 福田勝幸・学校法人拓殖大学理事長

## 北白川道久法人顧問が逝去

北白川道久法人顧問(神社本庁顧問、前神社本庁総務・元神宮大宮司)が10月20日に逝去。81歳。通夜祭は10月27日、葬儀は28日に青山葬儀所(港区)で執り行われた。

北白川氏は昭和12年生まれ。平成13年から本法人顧問を務めた。

## 初の学外シンポ盛況

「神話のふるさと」で「古事記」を語る

# 平成31年度 学費一覽

平成31年度学費は次のとおりです。

## 立科町と学校法人国学院大学 代表団がウガンダ共和国を訪問



2020年の東京五輪・パラリンピックに向けアフリカ・ウガンダ共和国を相手国とするホストタウンに登録している長野県立科町と、同町内に厚生寮を有する学校法人国学院大学の代表団が10月、同国を訪問した。本法人から代表団に加わった尾近裕幸理事（経済学部教授）は、同国教育スポーツ省と立科町とのホストタウン事業及び教育・スポーツ・文化交流事業協力協定締結に立ち会ったほか、ムセベニ大統領、同夫人と面談した。東部・カプチョルワ県では、陸上競技中長距離ナショナルチームの練習拠点なども視察した。

本法人では、今後、立科町との地域連携を通して、同町で陸上競技中長距離種目の事前合宿を予定する同国への協力を進めていく。

## GO GLOBAL WEEKを開催 女優 鈴木ちなみさんの トークショーも



学生たちに海外への留学やインターンシップなどを紹介する学内留学フェア「GO GLOBAL WEEK」が10月15日から26日、渋谷キャンパスで行われた。期間中は国際交流課員が個別に留学などの相談を受けたほか、海外インターンシップやボランティアのプログラムを提供する企業や団体が説明会を開くなどした。

イベントに先立ち10月10日、関連企画として女優の鈴木ちなみさんを招いたトークショーが開かれた。民放の情報番組で22カ国を訪れたという鈴木さんは、「日本の常識が世界の常識ではない。（訪れる）国によってルールがあることが面白かった」と振り返った。その上で、「インターネットにないことを現地に行って知る。ときめく気持ちやワクワクする気持ちを大事にしてほしい」と集まった学生たちに語りかけた。

## 安蘇谷前学長に瑞宝中綬章

長年にわたる地方自治や教育、社会福祉などへの功績をたたえる秋の叙勲が11月3日付で発令された。本学関係者では、本学前学長の安蘇谷正彦名誉教授が瑞宝中綬章（教育研究功勞）を受章した。



安蘇谷名誉教授は、クレアumont大学大学院で宗教学専攻修士課程修了（M.A.）。本学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。本学日本文化研究所専任研究員、文学部、神道文化学部教授を経て平成16年4月から23年3月まで学長。現在は、本法人顧問、大学名誉教授。

このほか、本法人評議員で学校法人市野学園元理事長の末岡照章氏（昭40卒・73期史）が旭日中綬章（私学振興功勞）を受章した。

学部 区分	入学年度	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	合計
文学部 経済学部 法学部 神道文化学部 人間開発学部	平成31年度	260,000	700,000	201,000	10,000	1,171,000
	平成21～30年度	—	700,000	201,000	10,000	911,000
	平成20年度以前	—	691,000	201,000	10,000	902,000

備考 再入学者の入学金については半額とする

別科 入学年度	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	実習料 (入学年度のみ)	合計
平成31年度	145,000	420,000	81,000	10,000	6,000	662,000
平成30年度	—	420,000	81,000	10,000	—	511,000

専攻科 出身別	入学年度	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	合計
本学卒	平成31年度	130,000	700,000	100,500	10,000	940,500
		260,000	700,000	201,000	10,000	1,171,000
他大学卒						

備考 本学出身者の入学金および施設設備費は半額とする

大学院 区分	出身別	入学年度	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	合計
前期課程	本学卒	平成31年度	100,000	505,000	100,000	10,000	715,000
		平成30年度以前	—	505,000	100,000	10,000	615,000
	他大学卒	平成31年度	200,000	505,000	200,000	10,000	915,000
		平成30年度以前	—	505,000	200,000	10,000	715,000
後期課程	本学卒	全入学年度	—	505,000	—	10,000	515,000
		平成31年度	200,000	505,000	200,000	10,000	915,000
	他大学卒	平成30年度以前	—	505,000	200,000	10,000	715,000

- 備考
1. 授業料、施設設備費、維持運営費は在学中毎年度納入するものとする
  2. 本学出身者の入学金及び施設設備費については次のとおりとする
    - イ. 前期課程＝半額
    - ロ. 後期課程＝本学前期課程修了者は徴収しない。本学学部出身者で、他大学前期課程修了者は半額



区長賞に選ばれた会田さんは、自ら取材した内容を基に落書き対策を提案した

本学学生が渋谷区長にさまざまな施策を提言するプレゼンテーション大会が10月31日、渋谷キャンパス若木タワー有栖川宮記念ホールで開催された。3回目を迎えた今年のテーマは、「渋谷区を

## 「渋谷を輝く街に」区長に施策提言

輝く街にするにはどうするか？「ちがいをちがらに変える街。渋谷区」。「渋谷で、2020東京オリンピック・パラリンピックをどのように盛り上げるか？」。計16組の応募があり、一次選考を通過した9組が参加した。

長谷部健区長、赤井益久学長ら6人による審査の結果、区長賞には会田優介さん（経4）の「落書きを撲滅し、渋谷の魅力を伝えよう」、学長賞には斎藤光起さん（法1）の「映える」ならば次はどうするべきか、新設されたサッポロホールディングス賞には子ども支援学科・夏秋ルームの10人による「渋谷をテーマパーク化」が輝いた。長谷部区長は「どのアイデアも新鮮で良かった。今日、インスパイアを受けたものが、実現されたら、皆さんに報告したい」と話し、赤井学長は「今年は全体的にプレゼンの技術・能力が優れており、どのチームも非常に良かった」とねぎらった。

区長賞に輝いた会田さんは「普段から、得た情報を自分の中でしっかりと考えるように心がけてきた。賞をいただけただけは、大きな自信になった」と喜びを語った。

受賞3組以外の提言は次の通り（順不同）。

「Shibuya smart stadium」▽  
「渋谷でオリンピックをどのように盛り上げるか？」▽「目指せ！コト消費の実験場」▽「共育で渋谷区を輝かせる」▽「絵本でつながる子どもたち」の輪▽「ちがいをちがらに変える街。渋谷区へ」

# 人間開発学部創設10周年 記念フォーラムや祝賀会を開催



## 研究開発推進機構 中国・南開大学外国語学院と 協定調印

本学研究開発推進機構と中国・南開大学外国語学院は、平成4年に締結した大学間の教育・学術交流に関する協定に基づき、学術交流に関する協定書に調印した。

調印式は11月6日、渋谷キャンパスで行われ、根岸茂夫・研究開発推進機構長と王凱・南開大学外国語学院副院長らが出席した。根岸機構長は「両校には研究・教育上、長い交流がある。これを機会にさらに研究を発展させながら続けていければ」と挨拶し、王副院長は「協定をスタートとして両校の研究成果を世界中に発信していきたい」と応じた。



## 「共存学」公開研究会 学内外の研究者が成果を報告

経済学、宗教、福祉などさまざまな視点から「共存」を見つめる本学の学際的研究「共存学プロジェクト」の平成30年度公開研究会が10月13日、渋谷キャンパスで開催された。

第1報告で、北海道大学の奈良雅史准教授が「エスニック・ツーリズム開発に伴う民族間関係の変化—中国雲南省における回族社会の事例から—」と題し報告した。休憩をはさみ、第2報告会は本学経済学部の山本健太准教授が「伝統と文化の現代的諸相—西日本における神楽舞を事例に—」と題し研究報告を行った。

山本准教授は研究報告の中で、「神楽」を観光資源と位置づけ観光客誘致活動に取り組んでいる島根県江津市や、広島県安芸高田市の事例などの紹介。文化資源・観光資源両方の側面から地域にもたらす影響を語った。



## 法学部 司法試験合格者 体験談語る

本学法学部卒業生で、今年度の司法試験合格者を囲む「司法試験合格者と語る会」が10月10日、渋谷キャンパスで開催された。

法学部主催のこの企画には、本学法学部を卒業後、本学や他大学の法科大学院を修了し、今年度の司法試験に合格した3氏が出席。学部での学びを振り返り、難関突破のための心構えなどを各自の体験をもとに丁寧に説明した。

三者三様のエピソードに法曹界を目指す学生たちは熱心に耳を傾けた。



人間開発学部の創設10周年を記念したフォーラムが11月10日、たまプラーザキャンパスで開催された。女優の浅野温子客員教授による記念授業や人間開発学部の現役・OB教授と院友によるシンポジウムには、多くの現役学生が足を運んで聴講。祝賀会はホームカミングデーと同時に開催され、多数の院友も集った。

冒頭、田沼茂紀・人間開発学部長(教授) Ⅱ写真右は「人間関係の輪を大切に、全ての人をかけたがえのない存在として尊重しようとする本学部の風土こそが在学生の誇り、自負心、頑張る活力となつて引き継がれている。今後、ますます多様化、グローバル化する現代社会で、学部創設時からの頑張ることを応援する『未来志向の人づくり』という教育理念は、これからも間違いなく教育の核として継承されるに違いない」と挨拶した。

続いて、赤井益久学長が「人間の潜在的能力を開発するという当初の学部設置理念は色あせることなく、ますます輝きを増している。学生を主体とした学部運営が社会から評価、注目されており、これからも社会の期待に応えるべき努力を続け、人文社会学系の標となり、主体性を持ち自律した大人を育成していく」と力強く語った。

浅野客員教授は「日御子イワレビコとイツセ、東を指す」と題し、『古事記』の読み語りを披露。シンポジウムには、人間開発学部の初代学部長である新富康史教授と宮川八岐、木村一彦の両元教授、それに院友3人が参加し、田沼学部長をコーディネーターに、学部の設置構想段階から現在に至るまでの歩みと将来の展望を語り合った。

この後、祝賀会が行われ、青木貴明さんと畠中優衣さん(いずれも初教3)がそれぞれ作詞、作曲を手がけた人間開発学部のイメージソング「交叉点」がお披露目されたⅡ同左。

シンポジウムの詳細は12月号に掲載します。

## 人間開発学部 「共育フェスティバル」盛況

学生が地元の子とも触れ合う

人間開発学部の学生らが自ら企画し、地元の子どもたちと触れ合いながら日頃の学びを実践する「共育フェスティバル」が10月28日、たまプラーザキャンパスで開催され、小学生以下の子どもを中心に約1300人の親子が訪れた。

10回目を迎えた今年のフェスティバルのテーマは「結(むすぶ)」。学生らは、6月から準備を進めてきた。訪れた子どもたちは、学生グループによるコンサートや体育館で行われたさまざまな遊戯を満喫。調理室では「親子deクッキング」が開かれ、テーマの「結」にちなんで、カップケーキがオーブンで焼き上がるまでの時間を利用して、親子が互いに日頃の感謝の気持ちを手紙につづった。

絵本の読み聞かせなどを担当した内山優奈さん(子支4)は「子どもが予想外の反応をしたときには、『そうだね』と言って一度受け止めてあげることが、読み聞かせのスムーズな進行につながることを学べた」と話した。油分を含んだ絵の具を水面に垂らし、独特の波紋やにじみを紙の上に浮かび上がらせるマールブリングを教えた西原大智さん(初教1)は「自分が笑顔で対応することで相手も笑顔になる。子どもたちに楽しんでもらえて、すごくうれしかった」と顔をほころばせた。

当日はオープンキャンパスも開催され、約300人の高校生らが学内を見学。共育フェスティバルの様子を見て回っていた、神奈川県内の高校に通う女子生徒は「学生に積極性があり、雰囲気がいいキャンパスだった」と振り返った。



# 第9回 観月祭 齋行

## 経済学部 仮想通貨をテーマにシンポ

経済学部と院友経済会の共催によるシンポジウム「仮想通貨とは何か」が10月20日、渋谷キャンパスで開かれた。近年、注目が集まる仮想通貨について、同学部の紺井博則教授、土田壽孝教授がその仕組みと課題、将来の展望について整理した。続いて、仮想通貨の発行を予定するオウケイウェイヴ代表取締役会長の兼元謙任氏が「ビジネスとしての仮想通貨」と題して講演し、仮想通貨の未来について語った。



## 文学部 本学学生と一関市民が神楽を奉納

文学部歴史地理学研究室は、岩手県一関市で古くからある景観を後世へ遺すための調査、研究活動を20年近く行っている。

10月28日、調査研究対象地域の一つである同市内京津畑地区の住民らが渋谷キャンパスに来校。神殿前で、地域に伝わる京津畑神楽の奉納を行った。

今回の神楽舞奉納は、史学科のオムニバス授業「史学入門」の特別講義として行われ、同地区住民と学部生4人がともに舞手を務め、「鶏舞」「女舞」を披露した。



## 居家以岩陰遺跡 5年目の発掘調査の結果を展示

国学院大学博物館では、文学部考古学研究室（谷口康浩教授）による居家以岩陰遺跡（群馬県長野原町）の学術調査に関する最新成果を紹介する発掘調査速報展示Ⅲ「発掘された縄文時代早期の人骨-居家以岩陰遺跡の発掘調査-」が12月2日まで開かれている。

展示では、復元された早期の縄文人骨と押型文土器・獣骨などの出土遺物を展示し、考古学・人類学・植物学・動物学の連携研究から明らかとなった成果を紹介する。

考古学研究室は、平成26年から居家以岩陰遺跡で学術調査を実施し、縄文時代初期の山地・資源利用と行動復原に関する調査研究に取り組んでいる。今年で5回目となる学術発掘調査は9月に行われ、縄文時代早期の埋葬人骨約20体などの発見が続いている。



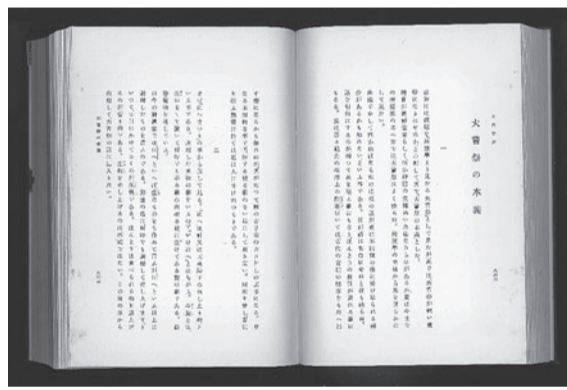
「登天楽」を舞う学生

神道文化学部の学生らが古式ゆかしく日本伝統の管絃や祭祀舞、舞楽を披露する第9回観月祭が10月20日、渋谷キャンパスで行われた。会場に詰めかけた約800人の観客は、荘厳で力強い学生の演奏と舞に大きな拍手を送った。

「平成」の世が30年平和であったことに感謝する祝詞が奏上され、自然災害からの復興を祈願して献供が行われた。管絃は平調音取から始まり、林歌、陪臚が演奏された。笙、箏、龍笛の三管と鞆鼓、太鼓、鉦鼓の三鼓が息のそった調べを奏で、会場は厳かな雰囲気にも包まれた。

続く祭祀舞では、平穩を願う浦安の舞と豊栄舞、最後に舞楽がそれぞれ披露された。舞楽会の冒頭に舞台を清める振鉦が行われたのに対して、五常楽急、登天楽が奉納され、2時間にわたる観月祭が終了した。

衣装の着付けを行った武田雅人さん（神文4）は「着付けはなかなか大変で手を痛めたりすることもあります。何事もなく行事を終えることができ、安心です。裏方の人、演者の皆さんに感謝しています」と安堵の表情を浮かべた。友人の紹介で訪れたというスイス人のアキム・コイシュさんは「見たことのない衣装や髪形、楽器ばかり。新しいものと出合えて幸せでした」と興奮気味に話した。



●後の大嘗祭研究に大きな影響を与えた『仮説』

学問ノ道 第12回

## 折口信夫「大嘗祭の本義」①

折口信夫（1887-1953年）は本学出身の国文学者・民俗学者であり、本学でも教鞭をとった。昭和5（1930）年、折口は、この年に刊行した自身の著書『古代研究』民俗学篇 第二に「大嘗祭の本義」Ⅱ写真左上Ⅱを収めた。大嘗祭は天皇が即位した後に行われる祭祀

で、このために造られた大嘗宮の2棟の神殿（悠紀殿・主基殿）において、天皇自ら米・粟・酒・海産物などを奉って天照大神及び天神地祇を祭り、のちに自らも召し上がる。

この論文は、自身が「民族学（のちの全集などでは民俗学とする：引用者）より見たる大嘗祭」としようと思つたとする通り、折口自身の「日本の祭りの成立」（「ほうとする話」祭りの発生その一）についての『仮説』に基づいて大嘗祭を分析したものである。また、昭和天皇の大嘗祭が行われた昭和3年には、本論文に関わる「高御座」、「大嘗祭の風俗歌」、「大嘗祭の本義ならびに風俗歌と真床襲衾」を『國學院雑誌』に発表している。

それ以前には、「髻籠の話」（大正4、5年掲載）において、大嘗祭が現在のように変遷するまでには、語り脱された長い多くの祖たちの生活の連続が考えられねばならぬとしている。「大嘗祭の本義」において折口信夫が示したのは、この「語り脱

された」部分についての『仮説』であった。特に「神殿中央に敷かれた神座（寢座）（折口は真床襲衾と呼ぶ）に天皇が籠もつてその力の源である天皇霊を身につける」という作法は、記録に見えず、折口の『仮説』の中で想定されたものであった。しかし、戦後、神話と王権論・儀礼論との関わりの中で、西郷信綱や神話学者が受容し、さらに歴史学者も受容することにより、後の研究に大きな影響を与えることとなった。（つづく）

研究開発推進機構准教授 大東敬明



# 幅広い視野を持つる 税理士に



佐藤謙一 教授

税を取り巻く社会環境が変化  
中、税理士に求められる資質や  
仕事の魅力とは

佐藤教授(以下、佐藤)かつては帳簿や申告書の作成など事務作業が税理士の主たる業務でしたが、最近では「タックス・プランニング(税務戦略)」の需要が高まっています。経済取引後の金額を確認して税金がどのようになるかを計算することよりも、どのような取引なら適法に、より少ない税負担で済ませられるかを事前に立案する業務です。

の税法と深く関わっているのはもちろんですが、税法は毎年のように改正されますから、業務を進める上では多くのことを調べたり覚えたりしなければなりません。また、税法のみを理解すれば済む時代でもなくなっています。税法は会社法や民法、その他のさまざまな特別法などと深く関係するとともに、経済取引のグローバル化によって他国との間の租税条約などが絡むケースもあるからです。

税理士を目指すキャリア・コースの特色を教えてください

佐藤 税理士になるには本来、税法3科目と会計2科目の計5科目の試験に合格する必要がありますが、大学院で修士号などを授与された研究が税法に属する科目であれば税法2科目、また会計学に属する科目であれば会計1科目が、所定の手続きにより免除されます。1科目ずつ合格してもよいので、複数年をかけて取り組むこともできます。本学では試験合格を目指す学生のための指導態勢を整えており、その特色は主に3つ挙げられます。

まず、税法2科目の免除を受けられるよう税法に関するカリキュラムが充実していることです。税法に属する科目の研究論文の作成にあたっては、きめ細かな指導を行っています。次に、仕事を持つ学生が働きながら履修しやすい講義は土曜を中心に実施しています。さらに、大学院で学びながら専門学校にも通う学生を支援するため、既に1科目でも合格していれば、一定の要件の下で指定校の授業を受けるための奨学金制度を設けています。

金子 授業料を年間70万円程度(初年度)に抑え、学生の経済的負担を抑えているのも本学の優位性です。学生数の少ない大学院では学生1人当たり

ます。学ぶ意欲につながってもらうためにも、目指す税理士の姿にヒントをつかんでもらえるよう実務経験をともに話をしています。

大学院での税理士養成の未来像は

佐藤 税を日常生活から切り離すことはできません。例えば副業(復業)を認める企業が増え始めています。サラーマンとしては新たな所

金子良太 教授



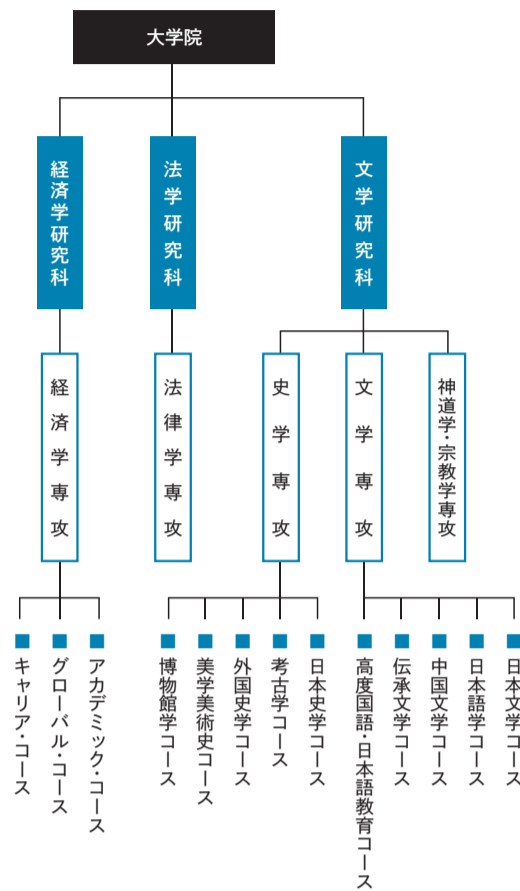
得が発生し、一定の要件を満たせば確定申告が必要になります。ほかに消費税や相続税など税はとて身近な問題として捉えられています。このような身近な問題を解決できる税理士を育てる大学院の社会的な役割が、そこにあると思っています。本学の学部生を対象とした課外講座では「KIPPLAS(キー・プラス)」という難関国家試験の突破を目指すキャリア支援プログラムが今

年度から始まりました。税理士と同じ職業会計士の公認会計士を目指すコースが設けられており、大学院のキャリア・コースに良い効果をもたらしてくれるはず。学部生には税理士資格にも目を向けようというよう努力をしたいと思います。

金子 税理士の後継者不足という社会的な課題の解決に、大学院が持つ可能性は大きいと考えています。親が経営する税理士事務所を子どもが資格を取れないという理由で第三者に譲渡、もしくは廃業を余儀なくされるケースがあります。大学院には人材の輩出が求められますが、修士号の安易な授与は決してあってはなりません。大学院出身の税理士への社会的な信頼をおとめることになるからです。

経済学研究所では、一定のクオリティを保った研究論文を書いた上で修了してもらっています。その一つの証として、税法などに関する優れた論文などを表彰する租税資料館賞を本学大学院生が受賞(第25回

## 【大学院組織図】



## 経済学研究所の税理士試験合格者実績

	大学院生	修了生	合計
平成29年度	1	2	3
28年度	1	1	2
27年度	2	3	5
26年度	1	0	1
25年度	0	2	2
24年度	3	0	3

(単位:人)

## 先取履修制度

国学院大学大学院では、学部4年生を対象とした「先取履修」を導入しています。この制度は、学部在学中に大学院の授業科目を履修することができるので、修得した単位は大学院入学後、本人からの申請により大学院の修了単位として認定されます。平成30年度からは、文学、法学、経済学の3研究科全てで導入しています。大学院では、進学を希望する学部4年生に対して履修を呼びかけています。ただし、学部の修得単位には算入されません。履修登録期間や対象科目などは、大学院事務課で確認してください。

## 大学院 進学相談会

(予約不要、入退場自由)

大学院の進学相談会を12月8日(土)午後3時から、渋谷キャンパスで開催します。全体説明のほか、教員へ入試制度や研究科(専攻・コース)に関する相談ができ、現役大学院生と直接、話すこともできます。キャンパスは随時、自由に見学することが可能です。会場は、全体説明が120周年記念2号館2階2202教室、個別相談が若木タワー5階大学院演習室。対象は受験生、一般ほか。当日は進学相談会に先立って午後2時から、2202教室で大学院講演会を開催します。あわせてご参加ください。

大学院に関する問い合わせ先

大学院事務課  
☎ 03・5466・0142

# 問題解決能力を育成



奨励賞の部(平成28年11月)しています。修了資格のハードルを下げないことは、長期的に本学のブランド力を確立することにつながると考えています。

ありがとうございます



金子良太教授の授業を受けるキャリア・コースの学生たち

## キャリア・コースの学生に聞きました

社会人 修経1  
業務経験から税理士の仕事に魅力を感じました。研究テーマは、相続課税における不動産の評価適正による価格と時価にかかる諸問題。仕事があるので、勉強時間を捻出するのが大変です。個人、法人にかかわらず、税に対する関心の高さを感じており、クライアントに感謝される税理士を目指したいです。

大学院生 修経1  
大学時代に株や仮想通貨の取引で確定申告をするようになったのをきっかけに、税理士を目指すようになった。研究テーマは「仮想通貨に関連する課税制度」。仕事テーマは「仮想通貨に関する課題」。研究テーマは「仮想通貨に関する課題」。研究テーマは「仮想通貨に関する課題」。

大学院生 修経1  
個人事業者である親や親戚から「税務や会計に困ることが多い」と聞いていたので、税理士とつながりたい。研究テーマは「研究と資格試験のための勉強を両立させることは大変ですが、税を通して社会についてのさまざまな知識を身につけたい」と感じます。税法と会計の知識を生かし、経営をサポートできる税理士になりたいです。

大学院生 修経1  
税理士である父の事務所でアルバイトをして、自分に向いている職種だと感じました。研究テーマは「同族会社の行為・計算の否認」。理論と計算の勉強を両立させるのは難しいですが、会計の流れをしっかりと理解できるようにになりました。依頼主にきちんと向き合える税理士を目指します。

先取履修 修経4  
大学の会計の授業で税理士を知り、大切なお金を預かることは大きな責任があり、やりがいがあると思います。自営の実家もサポートしたいです。学部の授業とは比較にならないほど準備や復習が大変ですが、経済紙を読むようになり、特に税についての記事には気をつけています。社会貢献できる税理士になりたいです。

先取履修 修経4  
大学院の授業を受ける学部生  
大学でゼミの先生に進路の一つとして税理士を勧められました。学部の授業のように要点を記録するだけでは済まず、自分の意見を持たなければならぬところが大変ですが、会計や税に関する報道に着目するようになり、日商簿記検定2級について同級生に教えられるようになりました。税だけでなく経営や労務に関することにも対応できる税理士を目指します。

本学大学院経済学研究所キャリア・コースで税理士を目指す大学院生や学部生に、学修や研究の苦勞、学びの中での気づき、目指す税理士像などについて聞いた。

平成31年度協定留学生(派遣)を募集

協定留学制度(派遣留学)とは、本学が国際交流協定を結ぶ外国の大学へ学生を交換留学生として派遣する制度。来年9月から、2学期間または1学期間の留学希望者を募集します。



リアル謎解きゲームin渋谷「探偵こくびょんVS怪盗わるびょん」



本学が渋谷の街に謎を仕掛けます。怪盗わるびょんが渋谷の街にちりばめた謎を解き明かしながら、ゴールを目指す街歩き型の謎解きイベント

です。新しくなってゆく街並み、その街並みから一步奥へと入り込むと、歴史が息づく、また違った魅力に溢れた渋谷の街があります。

本学が参加予定の進学相談会(12月開催)

本学では、長野県で12月に開催される進学相談会に参加予定です。本学への進学をお考えの受験生、保護者の方はぜひご来場ください。

平成31年 新年院友交歓会

国学院大学院友会主催の新年会です。院友の活動報告や福引大会など盛りだくさんの内容で、活躍する硬式野球部、陸上競技部、柔道部、スキー部、卓球部、ソフトテニス部の後輩たちも参加予定です。

博物館

無料 10時~18時(入館は17時30分まで) ※12月3日(月)、4日(火)、26日(水)~来年1月6日(日)は休館

特集展示 明治150年記念「明治日本における伝統と近代」

明治150年を記念し、明治国家建設のグランドデザイナーと称され、「國學院設立趣意書」修正にも関わるなど本学との結びつきが強い井上毅の旧蔵資料である「梧陰文庫」を中心に、国学院大学図書館所蔵の貴重資料を紹介し

重なる資料を紹介し、12月2日(日)まで 博物館校史展示室

ミュージアムイベント ~ミュージアムトーク

開催中の企画展「列島の祈り一祈年祭・新嘗祭・大嘗祭」(~来年1月14日)に合わせて当館の大東敬明准教授が「祈年の法会に招かれる神々」と題して講演。

キャリアサポート

業界セミナー

各業界のトップ企業を本学にお招きし、業界や企業を解説してもらうセミナーです。インターンシップや今後の選考についての情報が得られる可能性も。

ミナー申込>各企業から事前申込が必要

内定者アドバイス会

就職活動を終え大手・優良企業に内定した4年生約40人が、就職活動に不安をかかえている1~3年生に、直近の就職活動の情報・ノウハウをアドバイスします。

業界セミナー参加企業一覧

Table with 4 columns: 開催日, 企業, 時間, 開催日, 企業, 時間. Lists various companies like 伊藤忠食品, 東日本旅客鉄道, etc.

本紙へのご感想をお待ちしています

「国学院大学学報」では、読者の皆さまからのご意見・ご感想を募集しています。掲載された方には、本学オリジナルグッズを進呈いたします。



「テレビ離れ」という言葉が聞かれるようになった。スマートフォンで手軽に見られる動画投稿サイトやネット回線の番組などに押され、テレビを見る人が減っているのだという。また、有料放送や海外放送だけを見る人も増えているそう



若木が丘 だより 神道文化学部准教授 小林 宣彦

「大切なのは、疑問を持ち続けることだ。神聖な好奇心を失ってはならない。アイシユタインの言葉である。ぼーっと生きている己を猛省しながらこの文章を書いていく。諸賢にはみずみずしい好奇心を常に持ち続けてほしいと願っている。

「!」と「?」の散文

# インフォダイジェスト

... 在学生
 ... 保護者
 ... 卒業生
 ... 一般
 ... 受験生

内容
 日にち
 時間
 場所
 対象
 申し込み
 料金
 問い合わせ

## 大学からのお知らせ

### 平成31年度 一般入試のご案内

人文・社会科学系の総合大学として、文・神道文化・法・経済・人間開発の5学部13学科を設置する本

学では、来年度の一般入試を下表の日程で実施します。

併願によって受験料がおトクになる「応援割」も用意しています。例えば、センター試験のみで判定する「センター試験利用V方式(I期・II期)」では全学科(法学部は全3専攻)の併願が可能なら、「応援割」によっておトクに受験できます。詳細は本

学HP (<http://www.kokugakuin.ac.jp/admission>)で確認してください。

※本学の一般入試は、受験ポータルサイト「UCARO」からのインターネット出願となります  
 問入学課 (☎03・5466・0141)

### 卒業式、卒業証書・学位記並びに修了証書授与式について

日 来年3月17日(日)

【卒業式】

場 グランドプリンスホテル新高輪「飛天」

対・時

▶経済学部・法学部・人間開発学部 = 10時～

▶文学部・神道文化学部・専攻科・別科 = 13時～

【卒業証書・学位記、修了証書等の授与】

対・時・場

▶経済学部・法学部 = 13時～、渋谷キャンパス

▶文学部・神道文化学部・専攻科・別科 = 16時～、渋谷キャンパス

▶人間開発学部 = 13時30分～、たまプラーザキャンパス

問 総務課 (☎03・5466・0111)



平成31年度 一般入試日程			
入試制度	試験日	出願期間(消印有効)	合格発表
センター利用入試V方式【I期】	1月19日(土)・20日(日) 本学試験なし	1月4日(金)～18日(金)	2月13日(休)
前期入試A日程	3教科型	2月2日(土)	
	得意科目重視型	2月3日(日)	
後期入試B日程	2月4日(月)	1月4日(金)～21日(月)	
センター利用入試V方式【II期】	1月19日(土)・20日(日) 本学試験なし	1月4日(金)～3月2日(土)	3月4日(月)
後期入試B日程	2月25日(月)	1月4日(金)～2月18日(月)	3月4日(月)
センター利用入試V方式【II期】	1月19日(土)・20日(日) 本学試験なし	1月4日(金)～3月2日(土)	3月14日(休)

※試験科目等の詳細については本学HPで確認を

## 箱根駅伝 沿道から、全国から選手にエールを



### ◆学生応援ボランティアを募集

本学と国学院大学駅伝応援の会(坂本真佐人会長)、国学院大学院友会、若木育成会では、箱根駅伝当日の沿道に応援ポイント(下図参照)を設け、選手に声援を送ります。本学では、各ポイントでの応援、幟の設置、沿道の清掃などを行う学生応援ボランティアを募集します。参加者には大学オリジナル応援グッズを進呈。希望者は、申込用紙に必要事項を記入し、学生生活課・たまプラーザ事務課に提出してください。12月7日(金)まで申し込みを受け付けます。詳しくは学生生活課(☎03・5466・0145)まで。

### ◆院友、保護者も沿道と一緒に応援を

院友、保護者の皆様も、箱根駅伝当日は、沿道の応援ポイントで選手の力走を後押ししませんか? ぜひ、お近くの応援ポイントにお集まりください。

### ◆陸上競技部へのメッセージ募金も

12回目の箱根路に挑む学生に向けた熱い思いを送る「メッセージ募金」も実施中です。「メッセージ募金」は、課外活動などに熱心に取り組む学生に向けたメッセージを本学HP上から直接投稿してもらう仕組みです。500円から寄付が可能で、メッセージはそのままHPに公開されます(匿名可)。募金に関する情報は本学HP(<http://kifu.kokugakuin.ac.jp/>)で閲覧できます。





10回目のホームカミングデー

岩下、東儀客員教授が特別講演

院友が年に1度、学舎に戻ってキャンパスライフを楽しむ「ホームカミングデー」が10月20日、渋谷キャンパスで開催された。今年で10回目を迎え、いずれも院友で本学客員教授の作家、岩下尚史さんと雅楽演奏家、東儀秀樹さんを招いた特別講演や、各院友会支部による地元名産品を扱った物産展などさまざまな催しを実施。訪れた院友たちは、恩師や学友との再会を喜び合った。

常磐松ホールで行われたセレモニーで、赤井益久学長は本学が「人文・社会学系大学の標」を掲げていることについて、「国学院大学が『見本となるためにする努力』はどこにも負けない。社会の負託に応える大学でありたい」とあいさつ。続いて、「一般財団法人国学院大学院友会の今井亮副会長が、物産展のおすすめ商品などを紹介した。

演は、世代の異なる3人の本学事務局職員を相手に、「おとなのお作法 子供顔の大人たち」と題してトークショー形式で行われた。岩下さんは昨年、『大人のお作法』（集英社インターナショナル）を上梓しており、その知見を生かして、3人の職員がそれぞれ職場や家庭で見せる子どものような素顔の一面を鋭い指摘でさらけ出させ、痛快に切り捨てては聴講者の笑いを誘った。



本学事務局職員と軽快なトークを繰り広げた岩下尚史さん(左から2人目)



筆策で「仰げば尊し」を披露した東儀秀樹さん

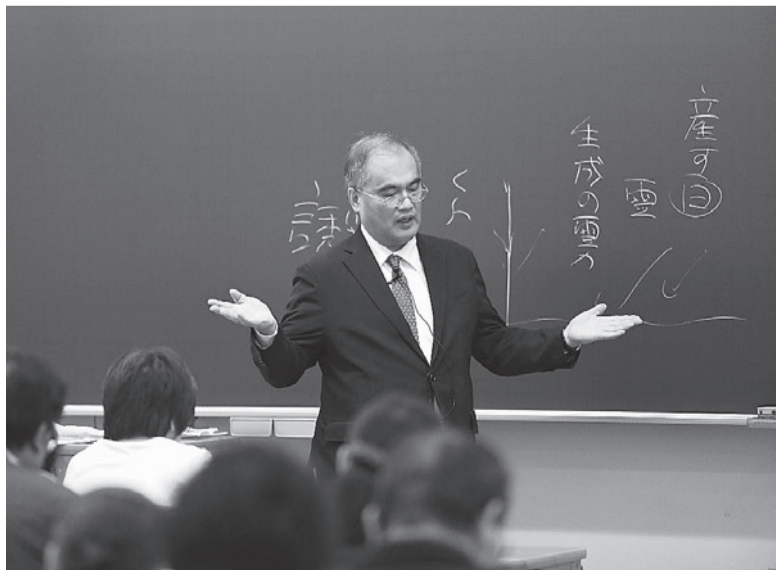
全国各地の名産品を集めた物産展は完売続出の盛況ぶり



東儀さんは「好き」の赴くままに「をテーマに講演。宮内庁の楽師や俳優を経験し、プライベートでもクラシックカーレース、乗馬、クレー射撃、写真など幅広い趣味人としての顔を持つ東儀さんが自ら重きをおく考え方を語った。

この中で、合格した複数の大学から本学を選んだ理由について、「雅楽と密接な関わりのある神道学科(当時)がある」「歴史をひもとくことは雅楽を学ぶ上で有益だと思え、迷わず選んだ」と回想。「本学の『古事記』の授業はとても魅力的で、雅楽を学ぶ上で歯車がかみ合うようだった」と振り返った。また、「(在学中は)哲学が魅力的だったことをキャンパスに来るといっても思い出す」と話した。講演の結びには、「大学への感謝の気持ち」を込めて「仰げば尊し」を筆策で演奏。集まった約300人の院友を魅了した。岩下さんの講演を楽しみに参加したという小川孝男さん(昭45卒・78期経)は「約束もせずに来たのに、当時の仲間と会えてうれしかった」。東儀さんの講演を目標に訪れたという女性(平17卒・113期法)は「キャンパスに戻って当時の熱い気持ちを思いだし、また明日から頑張ろう」と思ったと顔をほころばせた。

渋谷・たまプラーザで見学会 保護者らキャンパスライフ体験



『古事記』をテーマにした武田秀章神道文化学部長の模擬授業に保護者は熱心に耳を傾けた

本学在学生の保護者らで組織する若木育成会(加藤圭子会長)は10月20日、渋谷、たまプラーザの両キャンパスで「キャンパス見学会」を開催。約850人の父母や関係者が来校し、模擬授業やキャンパスツアー、就職・留学ガイダンスなどを受けながら、本学でのキャンパスライフを体験した。

保護者らに、加藤会長は「日頃の学生の様子をご覧いただき、大学生活への理解を深めていただくとともに、保護者の皆さまにも学生に戻った気分で楽しんでいただけたら幸いです」と挨拶。育成会が「若木チャレンジ賞」を設け、ボランティアやサークルの活動などで活躍した在学生のチャレンジ精神を顕彰していることを紹介した。

続いて登壇した赤井益久学長は「これからの世代を担う人材を育成していくよう、大学の教職員一同、力を合わせて挑戦する」と力を込めた。

この後、各学部を代表する教員陣による模擬授業が行われた。文学部の佐藤長門教授は「譲位する王権、しない王権」、法学部の鈴木達次教授は「保険金受取人の指定・変更」とそれぞれ題して講義。神道文化学部の武田秀章学部長(教授)は「古事記を楽しむ」をテーマに、『古事記』にまつわる学生のアート作品や授業へのコメントを披露しながら、『古事記』の概要について解説した。



保護者を前に挨拶する若木育成会の加藤圭子会長

## 第136回若木祭 活動の成果を披露

本学の学園祭・第136回若木祭が、渋谷キャンパスで開催された。11月1日に前夜祭、2日から4日まで本祭、4日午後には後夜祭が行われた。

実行委員会主催の文化企画では、「あしたのジョー」などの作品で知られる漫画家、ちばてつやさんの講演などが行われた。

期間中、120周年記念2号館、3号館前のキャンパスモール下には、各部会や県人会が模擬店を出店し、各団体が趣向を凝らした一品を提供。校舎内では、文化・学術系団体の展示や発表会、講演会が行われた。また、3号館前のキャンパスモール下や5号館ピロティでは、応援団、体育系部会の演武や吹奏楽部の演奏、書道研究会によるパフォーマンスなどが披露され、来場者は足を止めて、声援・拍手を送った。

4日には若木陸の神輿渡御が行われ、威勢のいい掛け声とともに近隣地域を練り歩いた。



## ラグビーフットボール部 立正大に逆転勝ち

ラグビーフットボール部は、初の1部昇格へ関東大学ラグビー・リーグ戦グループ2部で快進撃を続けている。開幕から4勝1敗と好調の同部は11月4日、国士舘大学グラウンドで3勝1敗1分けの立正大学と対戦。

前半を3-7とリードを許して折り返した同部は、後半に藤田爽太郎選手(健体4)＝写真＝のトライなどで逆転し17-14で相手を振り切った。

11月18日に行われる最終戦で、同じく5勝1敗の東洋大学との直接対決を制すと、初の1部昇格に向けた入れ替え戦進出が決まる。



## ソフトテニス部 男子8季連続の1部確定 女子も健闘2部2位

ソフトテニスの関東学生秋季リーグ戦が9月29日、10月13日にサニーテニスコート(千葉県白子町)などで行われた。1部に所属する男子は、強豪校を相手に2勝3敗で4位となり、8季連続の1部を決めた。女子は同2部リーグで優勝まであと一步の2位と健闘。下森都由選手(初教4)・坂東花音選手(史3)ペアが全勝賞を獲得した。



## 硬式野球部 清水投手 東京ヤクルトが1位指名 「神宮でいい成績を」

プロ野球ドラフト会議が10月25日、都内ホテルで行われ、本学硬式野球部からプロ志望届を提出していた清水昇投手(日文4)が1位で東京ヤクルトから指名を受けた。

指名確定後、鳥山泰孝監督とともに記者会見に臨んだ清水投手は、「憧れてきたプロ野球のスタートラインに立ててうれしい気持ちでいっぱいです。

(高校・大学時代に)慣れ親しんできた神宮球場でしっかりいい成績を残したい」と、鳥山監督は「1位指名は非常に光栄なこと。(大学での)残りの時



間でしっかり準備をさせて球団の期待に応える活躍をしてほしい」と話した。

清水投手は、最速151km/hの直球と多彩な変化球を武器に、1年の秋から主に先発投手として東都大学野球で実績を重ねてきた。リーグ戦では通算13勝を挙げ、今春は、防御率1.75で最優秀防御率に輝いた。

## 東都大学野球秋季リーグ5位 2選手が個人表彰

東都大学野球秋季1部リーグは全日程(9月1日～10月23日)を終了し、本学硬式野球部は5勝7敗1分け、勝ち点2、勝率.417で5位に終わった。

シーズン終盤の東洋大学戦(10月16、17、18



日)は1勝1敗で迎えた3回戦、相手に本塁打を含む13安打の猛攻を受けて0-8と完敗。シーズン中盤まで他大学とほぼ横並びだったが、終盤の連敗などが響き優勝の夢が潰れた。

個人表彰では、首位打者に横井佑弥捕手(健体4)＝写真＝が打率.375で選出。ベストナインに工藤陽平外野手(哲4)が初めて選ばれた。

平成30年度東都大学野球秋季1部リーグ結果

順位	大学名	勝ち数	負け数	分け数	勝率	勝ち点
1	立正大学	7	5	0	0.583	3
1	駒澤大学	7	5	1	0.583	3
3	東洋大学	7	6	0	0.538	3
4	亜細亜大学	7	6	0	0.538	2
5	国学院大学	5	7	1	0.417	2
6	中央大学	4	8	0	0.333	2

## KOSPIRITS

国学院大学全学応援団〈上〉  
リーダー部

## 常に相手を「リスペクト」

「イチッ、ニッ、サンッ!」。渋谷キャンパス130周年記念5号館の多目的ルームに大きなかけ声が響き渡る。「清潔、優雅、華麗」を団訓に掲げる国学院大学全学応援団(杉田大樹団長＝史4)の一翼を担うリーダー部が週2回行う練習の始まりだ。

廊下側はカーテンが閉められ、中をうかがうことはできない。「音が漏れないように」(杉田団長)との配慮だ。単なる応援団員を育てるのではなく、「社会人として即戦力となる人材育成」といった卒業後の人生にも生きる術を身につけさせようという全学応援団の想いが表れている。

応援を先導するリーダー部にプラスバンドとチアリーダーを加えた3部構成60人規模という大所帯。春秋の東都大学野球リーグ戦、正月の箱根駅伝だけでなく、運動部会の応援やイベントで演技を披露する「リーダー公開」にも取り組む。その目的として杉田団長は、「暴力的イメージを払拭し、本当の姿を知ってもらいたい」と語る。

団員不足にあえぐ他大学とは対照的に30人という規模を誇る本学リーダー部だが、入学以前に応援経験のある団員は少ない。杉田団長自身も「高校時代は帰宅部だった」といい、「入学を機に何か始めよう」と考えたところで出会ったのが応援団。1年



「大学応援フェスタ」で「国大音頭」を披露する水谷哲也副団長(経4)

時の夏合宿を乗り越え、秋の神宮で経験した感動が今に至る原動力だと振り返る。

「勝利した硬式野球部の選手から『応援ありがとう』と声を掛けられました。応援する相手あってこそこの応援団だという想いに気づき、今でも選手たちへのリスペクトを失わないよう心掛けています」

9月には、「大学応援団の本当の姿を知ってもらいたい」と本学応援団が中心となって「第1回 大学応援団フェスタ」を開催した。首都圏の8校が互いの技術を披露し合う中での目玉イベント「紅白対抗応援合戦」で「勝利に最も貢献した」と評価された本学応援団。しかし、杉田団長からは「本学らしさを出そうとリーダー部だけで挑んでしまいました。演技を終え、3部あってこそこの応援団だという反省が残りました」と意外な言葉が飛び出した。人間関係や礼節など、応援活動を通じて刻み込まれた「想い」がこもった言葉かもしれない。

全学応援団は来年1月5日(土)、渋谷キャンパスで「赤紫の契り」を計画中。「今の大学応援団の姿」を伝えるイベントをのぞいてみたいかがか。

運動部会選手らに熱い声援を送る全学応援団。70年を越す歴史を誇る国学院大学全学応援団の真の姿を3回にわたってお伝えする。

K:DNA——創立136年目を迎えた国学院大学の**遺伝子**…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える

## 陸上競技部

# 6位で初シード獲得 全日本大学駅伝

秩父宮賜杯 第50回全日本大学駅伝対校選手権大会が11月4日、愛知・熱田神宮から三重・伊勢の神宮までの全8区間、全長106.8キロのコースで行われた。6月に行われた関東地区予選会を突破し、4年連続6回目の出場となる本学陸上競技部は、5時間19分50秒で、過去最高の総合6位に入り、初めてシード権を獲得した。優勝は、青山学院大学。

全日本大学駅伝は、出雲駅伝、箱根駅伝と並ぶ学生3大駅伝の一つ。時折雨が強くたたきつける中、27チーム（オープン参加の選抜2チームを含む）がたすきをつないだ。今大会は1～6区で距離が短くなるなど区間距離が変更された。1区で18位と出遅れた本学だが、2区で浦野雄平選手（経営3）＝写真＝が一時は区間賞ペースとなる快走で一気に順位を7位まで押し上げた。

その後は、学生3大駅伝初出場の藤木宏太選手（神文1）や7区を走った土方英和主将

（健体3）らが、各区間で強豪校と競り合いながら安定した走りをみせ、総合6位で伊勢神宮内宮前を駆け抜けた。

初のシード権を決めて前田康弘監督は「目標をクリアできた。チームの自信にして、さらに上を見ながらチームづくりをしていきたい」、2区で区間3位だった浦野選手は「シードはうれしい。自分のところで流れを作れた。胸を張って喜びたい」と笑顔で語った。



皇学館大学提供

### 総合順位

順位	大学名	総合成績
1	青山学院大学	5:13:11
2	東海大学	5:15:31
3	東洋大学	5:15:57
4	駒澤大学	5:17:29
5	帝京大学	5:18:34
6	国学院大学	5:19:50
7	法政大学	5:20:21
8	城西大学	5:20:29

以上、上位8校シード権獲得

### 出場選手成績

区間	氏名	学年	タイム	区間順位
1	臼井 健太	健体2	28'11"	19位
2	浦野 雄平	経営3	32'13"	3位
3	青木 祐人	経ネ3	35'09"	11位
4	藤木 宏太	神文1	35'19"	6位
5	江島 峻太	経4	36'56"	6位
6	茂原 大悟	史3	38'36"	8位
7	土方 英和	健体3	53'07"	6位
8	長谷 勇汰	史4	1:00'19"	15位

※区間順位はオープン参加2チームを含む

## 柔道部

# 相田選手 世界ジュニア3位 —国内でも好成績続く

柔道部が、国内外の大会で躍進だ。カリブ海のバハマで10月17～20日に行われた世界ジュニア柔道選手権大会に、男子66kg級の日本代表として出場した相田勇司選手（法1）が、銅メダルに輝いた。準々決勝まで全て一本勝ちで危なげなく勝ち進んだ相田選手だったが、準決勝でイタリア選手に優勢負けを喫し、3位決定戦に回った。ナグチョフ選手（ロシア）との決定戦は、互いに決め手を欠き延長戦に入った。延長開始7秒、組み手争いから小内刈りを決め、国際大会初挑戦でメダルを決めた。

国内大会では、10月20、21日にベイコムアリーナ（兵庫県尼崎市）で行われた全日本学生体重別団体優勝大会でベスト8に入った。平成23年以来のベスト4入りを目指した4回戦は昨年の優勝校・東海大学と対戦。3勝3敗で代表戦までもつれる大熱戦となった

が、優勢負けで快挙を逃した。

体重別で柔道日本一を決める講道館杯全日本柔道体重別選手権大会（11月3、4日、千葉ポートアリーナ）には、学生、卒業生計10人が男子4階級に出場。成績優秀者に与えられる世界選手権東京大会の出場権獲得を目指した。

66kg級に出場した藤阪泰恒選手（健体4）は、3回戦で今年の全日本選抜柔道体重別準優勝の田川兼三選手（筑波大）に延長の末、一本勝ちを収めるなど実力者を次々と退けた。準決勝で敗れて迎えた3位決定戦では、延長の末、相手選手の反則負けで銅メダルが決まった。

この他、男子81kg級で糸井滉平選手（大阪府警、平28卒・124期法）が3位決定戦に敗れ5位、66kg級の相田選手が9位だった。



相田勇司選手



藤阪泰恒選手

## 博物館 No.17 学芸員の資料ファイル

### 今月の資料

## 食器類(有栖川宮家旧蔵)

時代：明治時代

有栖川宮家と縁の深い国学院大学では、書・工芸品・馬具・楽器・茶道具・勲章などの宮家ゆかりの資料を収蔵しており、銀製・ガラス製の食器類もその一部です。校史展示室で展示している銀製品は、いずれもフランスのクリストフル（Christofle）社製、ガラス製品はバカラ（Baccarat）社製です。同資料は、有栖川宮家第10代威仁親王の代に購入・使用したものと伝わっています。

展示案内：本資料は、博物館の常設展示（校史展示室）でご覧いただけます。

ウェブサイト案内：http://museum.kokugakuin.ac.jp/

